

ESR、国内の主要大手投資家 7 社と 約 600 億円の国内ファンドを設立

- 投資対象は関西一円のハブを担う大型物流施設「RW 藤井寺 DC」-

ESR株式会社（代表取締役：スチュアート・ギブソン、本社：東京都港区 以下、ESR）は、国内の主要大手投資家7社と、大阪府藤井寺市津堂の大型物流施設「レッドウッド藤井寺ディストリビューションセンター」（以下、RW藤井寺DC）を対象とした国内ファンドを設立しました。ESRは、物流施設の開発・運営に関するファンドの設立などを通じて、国内の投資家様に魅力的な投資機会を提供してまいります。

国内投資家によるファンド組成は 3 件目

「RW 藤井寺 DC」を対象とした国内ファンドの設立には、三菱 HC キャピタルリアルティ株式会社、ダイビル株式会社、リコーリース株式会社、大成有楽不動産株式会社、第一リース株式会社、小田急不動産株式会社、およびその他 1 社が参加し、2025 年 9 月に契約を締結しました。今回の国内の主要大手投資家の招聘にあたっては、三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券が私募取扱業者を務めました。

出資総額は 150 億円で、銀行融資を含めると、ファンド規模は約 600 億円です。運用期間は 5 年間で予定しております。

国内投資家によるファンド組成は「ESR 尼崎ディストリビューションセンター」に続く 3 件目となります。

今後も物流施設ファンドなどを通じて国内投資家に魅力的な投資機会を提供

「RW 藤井寺 DC」は大阪府藤井寺市津堂に 2017 年 3 月に竣工した 5 階建て・ダブルランプ形式のマルチテナント型物流施設で、延床面積は 177,559 m²（53,711 坪）を誇ります。

「RW 藤井寺 DC」は 4 つの高速道路（西名阪自動車道・阪神高速・近畿自動車道・阪和自動車道）の合流点「松原 JCT」が至近、各最寄りインターチェンジより 1.5 km～2.5 km内に位置しています。2 府 4 県（大阪・京都・奈良・和歌山・兵庫・滋賀）へ好アクセス、大阪港・関西国際空港を通じた輸出入貨物にも好立地と、関西一円のハブを担う物流施設です。

また、敷地内ではヤギを飼育しており、ヤギによる雑草処理を通じて CO₂削減に取り組むなど、ESG の観点からもユニークな活動を行っております。ESR は資金調達手段の多様化を図るため、国内投資家とのリレーション強化に注力しています。今後も ESR が開発・運営する優良な物流施設に関する国内ファンドの設立などを通じて、国内投資家に魅力的な投資機会を提供してまいります。

< ESR はアジア太平洋地域最大の実物資産のアセットオーナー兼アセットマネージャーです >

ESR は、デジタル経済とサプライチェーンを支えるエネルギーインフラに特化した、アジア太平洋地域最大の実物資産のアセットオーナー兼アセットマネージャーです。当社は、日本、中国、韓国、インド、東南アジア諸国、オーストラリア、ニュージーランド、ヨーロッパにおいて、時代の変化を先取りした最先端の不動産市場を提供しています。物流不動産やデータセンターなどに投資するファンドのマネジメントと開発の完全一体型プラットフォームを通じて、投資家の皆様のグローバルなポートフォリオに価値と成長機会を創出します。また、「持続可能な未来のための空間と投資のソリューション」というパーパスのもと、お客様、株主、地域社会などすべてのステークホルダーに対して長期的な利益の成長を目指しています。詳細は www.esr.com をご覧ください。

本リリースに関するお問い合わせ先

ESR 株式会社 広報担当：須江絵理奈

■ Tel. (代表) 03-4578-7121/ (携帯) 070-3339-9448 ■ Email. jpn_pr@esr.com

ESR 広報代理 (CDR) ESRAsia@cdrconsultancy.com